

Getting Started Guide

MOM – Monitor Operating Module



NTP TECHNOLOGY

A DAN TECHNOLOGIES COMPANY

DAD
DIGITAL AUDIO DENMARK
By NTP Technology

重要な安全に関する注意事項

これらの指示を読み保管してください



正三角形内の矢印記号のついた雷マークは、製品の筐体内に感電する危険性がある、非絶縁の危険な高電圧が存在することを警告するためのマークです。



正三角形内の感嘆符マークは、製品に付属の資料に重要な操作およびメンテナンスの指示があることをユーザーに警告するマークです。



※印付きのごみ箱は、製品が通常のごみではなく電子機器として廃棄される必要があることをユーザーに警告するマークです。

警告 - 電気製品を使用する場合は、以下を含む基本的な予防措置を講じる必要があります。

製品を使用する前に、すべての安全および設置手順とグラフィックシンボルの説明をお読みください。

1. この装置を水の近くで使用しないでください。
2. 乾いた布でのみ清掃してください。
3. ラジエーター、ヒート・レジスター、ストーブ、または熱を発生するその他の装置（アンプを含む）などの熱源の近くには設置しないでください。
4. 製造元が指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
5. 雷雨や長期間使用しないときは、本機器の電源コードを抜いてください。
6. 修理はサービス資格のあるサービス担当者に依頼してください。電源コードやプラグが破損したり、液体がこぼれたり、物が落下したり、装置が雨や湿気にさらされたり、正常に動作したりしないなど、装置が何らかの損傷を受けた場合には修理が必要です。

修理に関して

- ユーザーのメンテナンス指示に記載されている以上に製品を修理しようとししないでください。他のすべての修理は、資格のある修理サービス担当者に連絡してください。
- 以下の場合には、資格のある修理サービス技術者によって修理を受ける必要があります：
 1. 物が落ちた、液体が製品にこぼれた
 2. 製品が雨にさらされている
 3. 製品が正常に動作していないか、性能が著しく変化している
 4. 製品が落下したか、またはエンクロージャが損傷している

内容

はじめに	4
ご使用の前に	4
接続	4
ネットワークポート	4
電源入力	4
GPI 入力	5
操作	5
構成	6
MOMの接続	6
モニタープロファイルにMOMを追加 キーの	7
プログラミング	10
仕様	13
Network interface specifications	13
Electrical specifications	13
Mechanical specifications	13
Environmental specifications	13

© 2018 All rights reserved. DAD - Digital Audio Denmark is a registered Trademark of NTP Technology A/S, who is the legal owner of the brand.

Product features and specifications are subject to change without notice.

NTP Technology A/S shall not be liable for technical or editorial errors contained herein, nor for incidental or consequential damages resulting from the furnishing, performance or use of this manual.

Company Address: NTP Technology A/S, Nybrovej 99, DK-2820 Gentofte, Denmark
E-mail: info@digitalaudio.dk, Web: www.digitalaudio.dk.

All trademarks are recognized as the property of their respective owners.

Doc No. MOM-8002-A-4 rev.1

始めに

この度はMOM - Monitor Operating Moduleをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
MOMは、DAD AX32およびDX32RのPro Mon 3モニターコントローラー・ソフトウェア用の汎用リモコンです。マルチユーザー機能が必要な場合は、複数のMOMを同じシステム上で使用できます。MOMは、S6、Pro Tools Dock、Pro Tools ControlアプリなどのEuconベースのコントロールサーフェスと組み合わせて使用することもできます。MOMには、4つのレイヤーに10個のユーザー定義可能なキーがあります。これにより、各レイヤー毎に10個のキーを持つことで、最大40個のユーザー定義可能なキーを効果的に使用できます。また、トークバック用のフットスイッチ等で利用可能な外部GPI入力を備えています。

ご使用の前に

硬くて乾いたテーブル上などにMOMを設置してください。ご使用のコンピューターにDADの構成と操作を行うためのソフトウェアであるDADman ver5.2以上がインストールされていることを確認してください。DADmanソフトウェアは、当社のウェブサイトwww.digitalaudio.dk/supportからダウンロードできます。

接続

MOMの背面には3つのコネクタがあります。The MOM has 3 connections on the back.

- PoE (Power over Ethernet) 対応の RJ45コネクタ仕様のネットワークポート
- DCコネクタ仕様の5 VDC電源入力
- フットスイッチなどの外部スイッチ用の3,5mmミニジャックコネクタ仕様のGPI (入力)

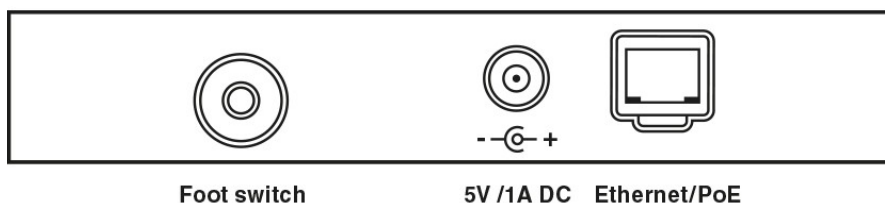


図1, Connections on MOM

ネットワークポート

ネットワークポートは、コントロール通信の為に使用されます。ネットワークポートはPoEもサポートしているので、ネットワークスイッチがPoEをサポートしている場合は、ネットワーク接続を介してMOMに電力を供給することができます。その場合、5VDC電源入力を使用する必要はありません。

電源入力

PoEを使用してMOMに電力を供給しない場合は、付属の電源アダプタで5 VDC電源入力を使用する必要があります。

! 注意。冗長性やバックアップ電源動作のために、イーサネット/PoEとDC電源の両方を同時に接続することもできます。



図 2, MOMに同梱されている電源アダプターキット

* 日本でご購入されたMOMには、上記ではなく、国内対応のみのACアダプターが同梱されています。

GPI 入力

GPI入力は3.5mmジャックコネクタです。これは、例えばフットスイッチなどの外部スイッチを接続するために使用することができます。GPI入力の機能は、DADmanソフトウェアからプログラムできます。



注意。MOMはフットスイッチのタイプを自動的に検出し、電源投入時およびリセット時にオンまたはオフになります。

操作

MOMには、10個のユーザー定義可能なキーと、レイヤーキー、ロータリーダイヤルを備えています。

ユーザー定義可能な10個のキーは、モニタープロファイル内で任意の機能にプログラムすることができます。したがって、MOMのパネルに印刷されている機能の名前に限定されません。レイヤーキーを使用すると、ユーザーは10キーから4レイヤーまでを切り替えて、最大40個のユーザー定義キーを効果的に使用できます。

ロータリーダイヤルは、通常、スピーカーレベルをコントロールするために使用されますが、他のレベルを調整するように構成することもできます。ロータリーダイヤルの周りには2 dBステップに設定されている-40dBから+12dBまでのレベル表示を行うLED目盛りがあります。

LEDは赤、緑、オレンジのいずれかで点灯します。これは、2 dBステップの間のレベルを示すために使用されます。

赤色LEDは、MOMのパネル上に印刷されている数値にレベルが正確に設定されていることを示します。-10dBの場合の例: ロータリーダイヤルをゆっくり回します。時計回りにダイヤルを回すとレベルが上がり、LEDが緑色に変わり、同時に次のLEDがオレンジ色に変わり0.5dBの変化を示します、これによりレベルは-9.5dBになります。更にダイヤルを回し続けると、両方のLEDがオレンジ色に変わり、レベルが1dB変更され、-9dBであることを示します。次に、LEDがオレンジと緑に変わり、0.5dBの変化を示します。これによりレベルは-8.5dBになります。更にダイヤルを回し続けると、最終的に赤色のLEDが-8dBのレベルを示します。

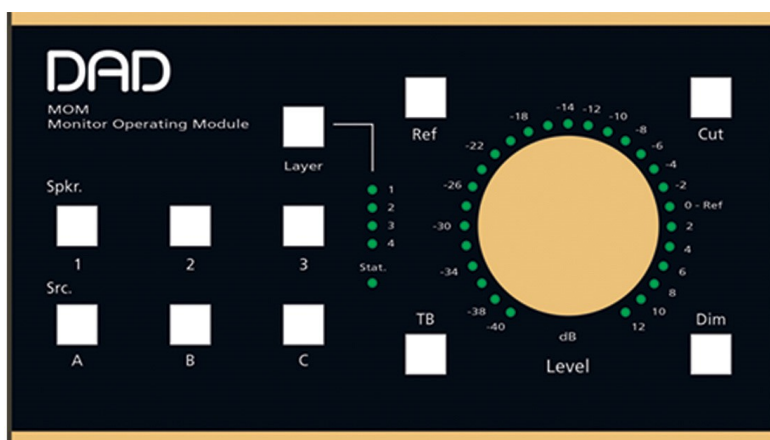


図 3. MOMの正面図



注意。MOMの構成がされていない場合、ステータスLED（状態）が赤く点滅します。構成の設定が行われると、緑色に点灯します。

構成

MOMはDADmanソフトウェアバージョンで構成されます。(DADman ver. 5.2以上)。以下に示す手順では、DADmanソフトウェアについて既に理解していることを前提としています。それ以外の方は、「AX32ユーザーガイド」をお読みください。MOMを構成するには、以下の手順を実行してください。

MOMの接続

MOMをネットワークに接続し、PoEまたは電源アダプタ経由で電源が供給されていることを確認します。ステータスLEDが約2秒後に赤く点滅します。

DADmanの、「Device List」に移動します。MOMは、DADmanソフトウェアによって自動的に検出されます。もし認識されない場合は、「Refresh」をクリックします。

次のスクリーンショットに示すように、MOMはUnit Type 710として表示されます。

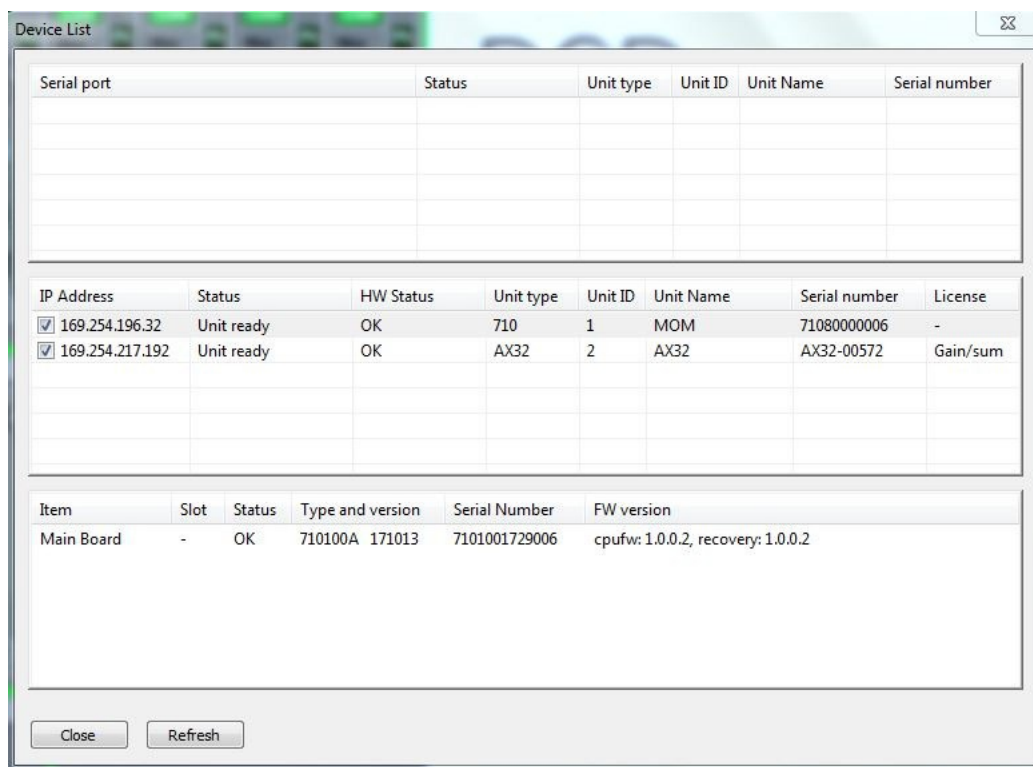


図 4, MOMとAX32を示すデバイスリストのスクリーンショット

MOMのIPアドレスが有効な範囲内にあることを確認します。MOMを選択し左側にあるチェックボックスをオンにして、ウィンドウを閉じます。

monitor profile(モニタープロファイル)にMOMを追加

次のステップは、既存のモニター・プロファイルをすでにロードしている場合はそれをロードするか、新しいモニター・プロファイルを作成するかのいずれかです。

既存のモニター・プロファイルがある場合は、それをロードしてモニター・プロファイル構成に進みます。モニター・プロファイルをまだ作成していない場合は、モニター・プロファイル構成に移動してモニター・プロファイルを作成する必要があります。作成ができていれば、次のような画面が見えるはずです。



下記の画像を表示する為に[MOM]タブを選択します。



左側の白い領域で右クリック (Windows) またはCTRL-クリック (OSX) します。[Add new MOM] を選択し、追加したいMOMを選択します。

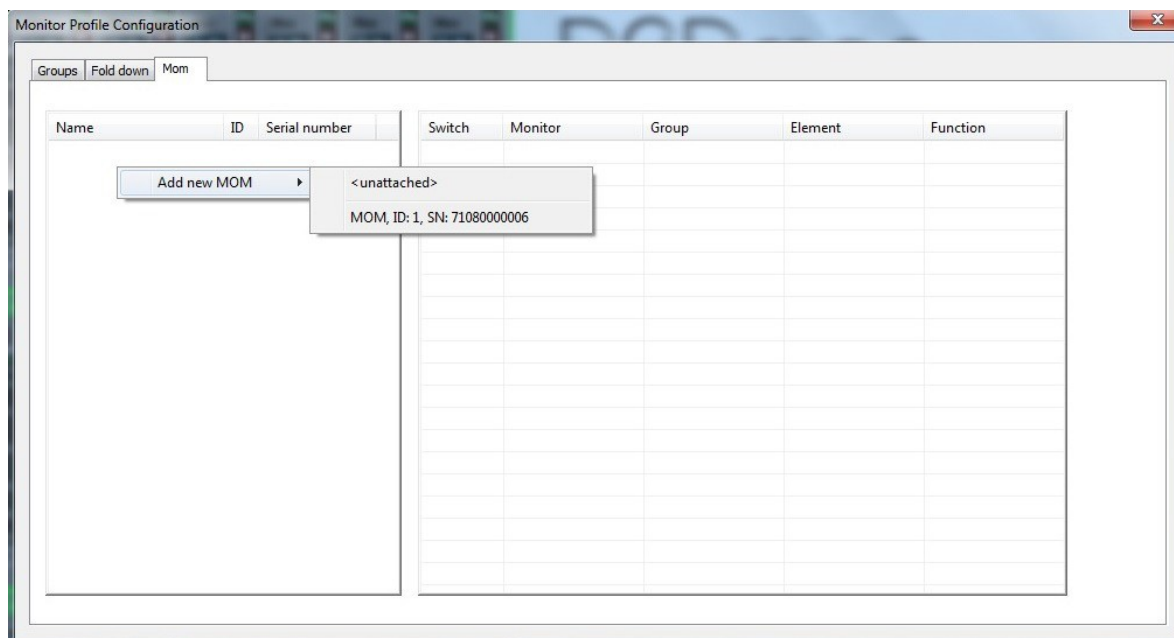


図 7, MOMの追加

左側の白い部分にMOMが表示されます。

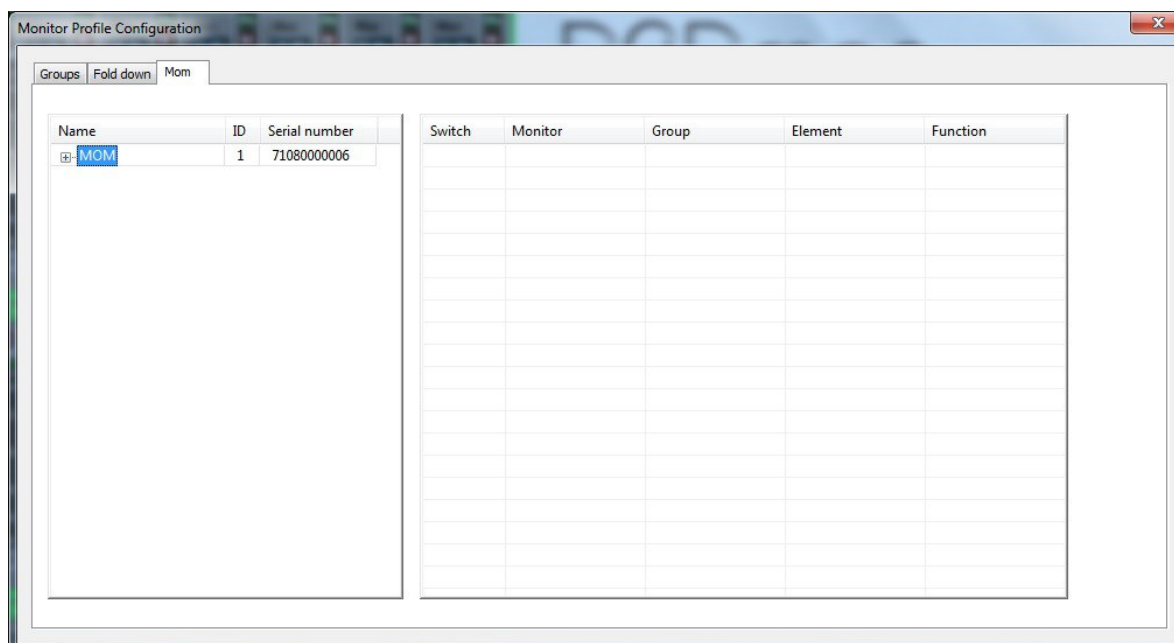


図 8. MOMの追加

キーのプログラミング

MOMの横にある小さな+記号をクリックすると、MOMの4つのレイヤーが表示されます。レイヤーの1つをクリックすると、MOMのすべてのキーのリストが表示されます。

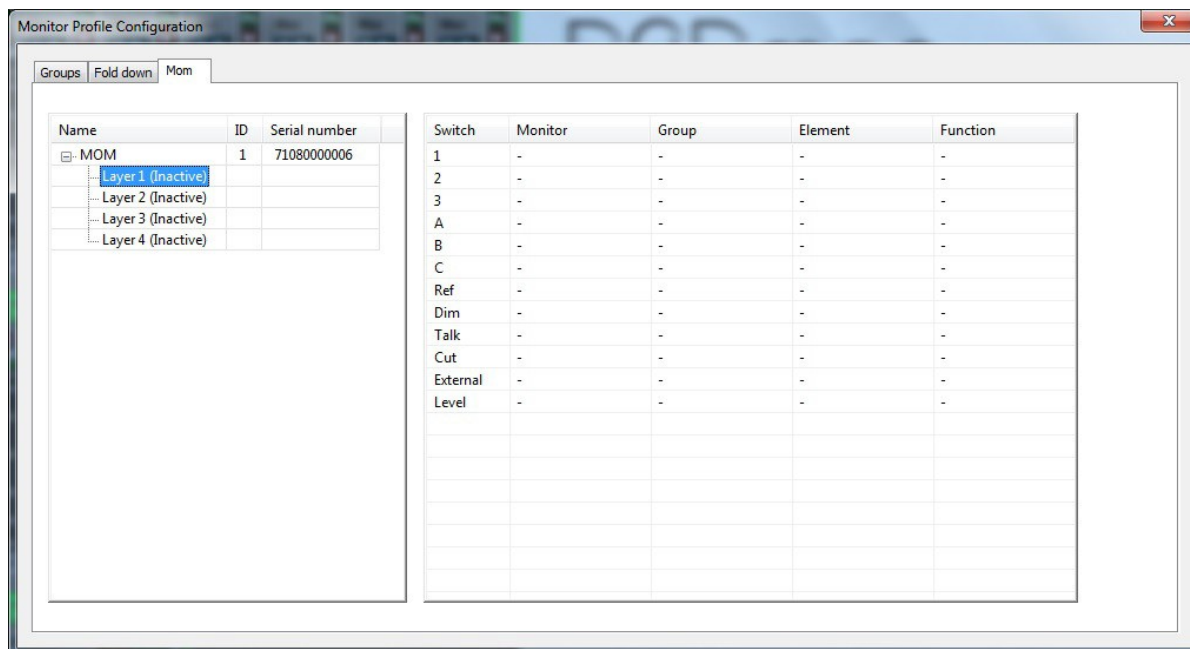


図 9. MOMのキ一

MOMを右クリックすると、次のオプションが表示されます。

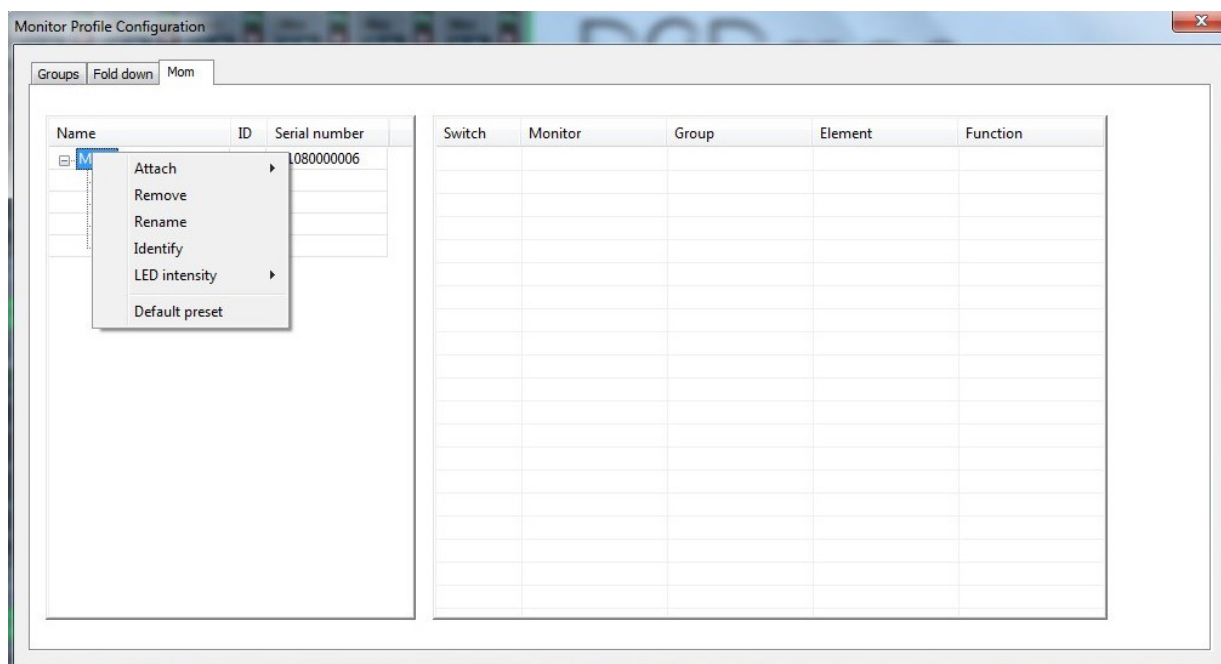


図 10. MOMをプログラミングするためのメニュー

右クリックメニューには次のオプションがあります。

Attach は、より多くのMOMを追加できます。

Remove をクリックすると、選択したMOMが構成から削除されます。

Renameは、選択したMOMの名前を変更して、構成内の識別を容易にします。

Identify は、選択したMOMのすべての緑色LEDを10秒間点灯させます。これにより、複数のMOMが同じセットアップで使用されている場合、MOMの識別が容易になります。

LED Intensity は、キーやLEDの点灯レベルをLow、Normal、Highのいずれかに設定できるため、MOMが使用されている部屋の照明条件に合わせることができます。

Default Preset は、DADmanソフトウェアがモニタープロファイルに基づいてMOMの機能を設定するようにします。これは "ベストエフォート" ベースで行われるため完全ではないかもしれませんが、それは良い出発点になります。後で構成を変更することは常に可能です。

キーの割り当て/再割り当ては、キーを右クリック/ CTRL-クリックして行います。これにより、モニター・プロファイルにプログラムされているモニター・グループを含む選択肢のリストが表示されます。モニターグループを指すと、そのモニターグループから選択肢が表示されます。必要な機能を選択し、次のキーに進みます。

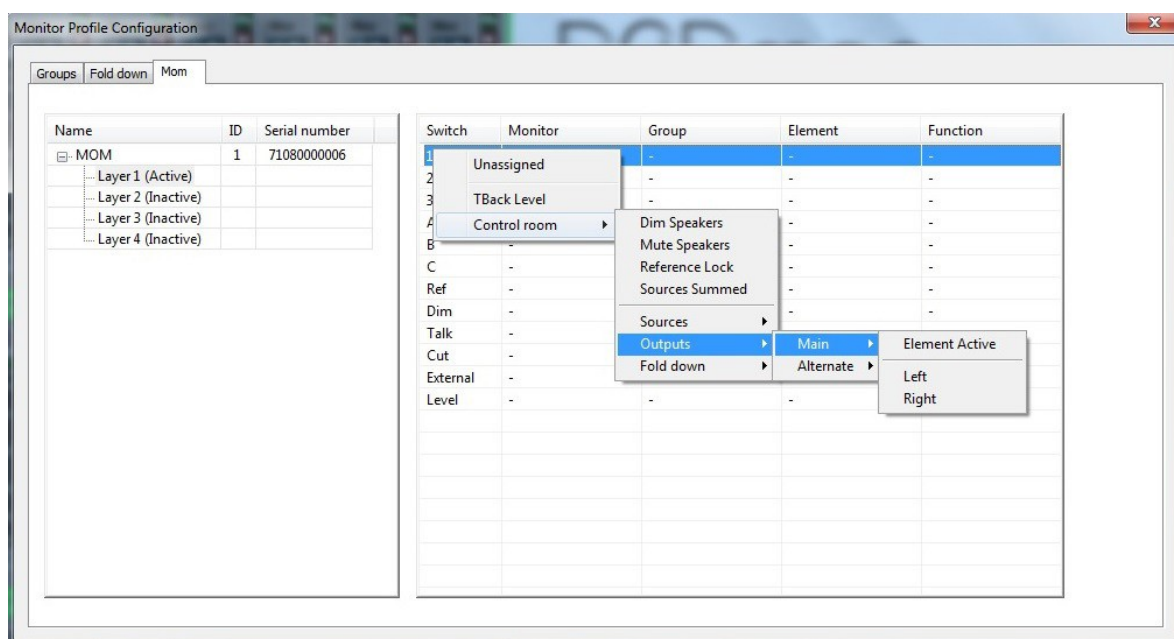


図 11. キーに機能を割り当てる

最後に、使用するレイヤーをアクティブにする必要があります。レイヤーを右クリック/ Ctrlキーを押しながらクリックし、レイヤーをアクティブにするために**Element Active**を選択します。



注意。 **Element Active**は、スピーカーセット全体のオンとオフ機能になります。**Left** か **Right** を選択すると、セット内の個々のスピーカーのオン/オフ機能になります。

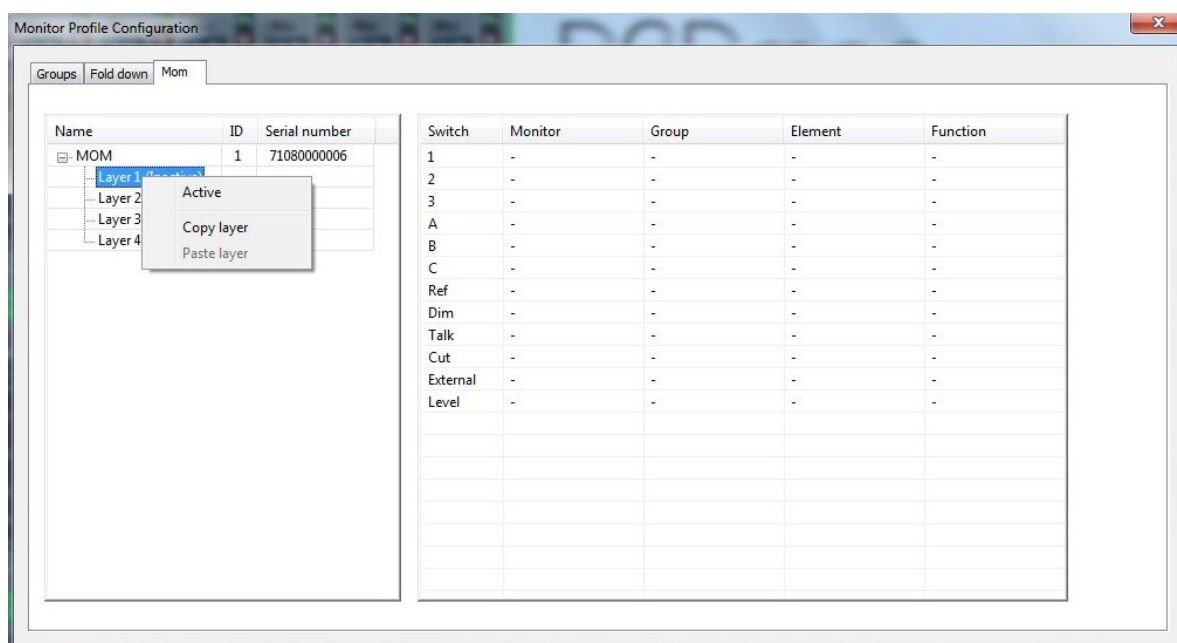


図 12. MOMのレイヤーを有効にする

同じメニューには、レイヤーのプログラミングを別のレイヤーにコピーしたり、別のMOMのレイヤーにコピーしたりすることができるコピー/ペースト機能もあります。これにより、同じ構成で複数のMOMを構成することが非常に素早くできます。

仕様

ネットワークインターフェース仕様

インターフェイス
PoE

1000BASE-T, RJ45 connector, 4-pair connection

According to IEEE 802-3af, class 0

フットスイッチ

3.5 mm mini jack

DC 電源入力

5.5mm/2.1mm DC connector. Tip is +5V

電源仕様

消費電力

5 W max.

入力電圧

PoE or 5 DVC

サイズと重量

寸法 (W x D x H)

17.2 cm x 11 cm x 5 cm

6.8" x 4.3" x 2"

重量

1 kg / 2.2 lbs.

推奨使用環境

動作温度

0 – 45 °C / 32 - 113°F

湿度

20 to 85%, non-condensing

EMC準拠

EN 55103-1, part 1: emission

EN 55103-2, part 2: Immunity

FCC 47 CFR part 15 (B): emission

日本国内に於けるライセンスはタックシステム株式会社が保有しています。タックシステム株式会社の承諾なしに本マニュアルのコピー、再販を禁じます。

Printed by TAC SYSTEM,Inc.20180222 kobayashi

NTP Technology A/S Japan Distributor
日本総代理店：タックシステム株式会社 /
TACSystem,Inc.
〒141-0021
東京都品川区上大崎3-5-1 TACビル
3-5-1,Kami-Osaki,Shinagawa-ku,Tokyo,Japan 141-0021